



2024年8月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年10月11日

上場会社名 株式会社カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 久典

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 池田 喜章

TEL 072-439-8011

定時株主総会開催予定日 2024年11月27日

配当支払開始予定日

2024年11月28日

有価証券報告書提出予定日 2024年11月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の業績(2023年9月1日~2024年8月31日)

(1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年8月期	2,182	24.9	402	41.7	408	40.8	293	43.1
2023年8月期	1,748	14.6	283	25.6	290	18.3	205	74.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2024年8月期	136.57		5.4	5.2	18.4
2023年8月期	95.47		3.9	4.0	16.2

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 百万円 2023年8月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2024年8月期	8,122	5,554	68.4	2,585.11
2023年8月期	7,560	5,355	70.8	2,492.54

(参考) 自己資本 2024年8月期 5,554百万円 2023年8月期 5,355百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	907	585	21	570
2023年8月期	149	984	442	226

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年8月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2023年8月期		20.00		22.00	42.00	90	44.0	1.7
2024年8月期		22.00		28.00	50.00	107	36.6	2.0
2025年8月期(予想)		25.00		25.00	50.00			

3. 2025年8月期の業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	1,120	1.7	230	21.0	229	17.7	150	7.7	69.81
通期	2,222	1.8	451	12.1	449	10.0	294	0.2	136.82

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期	2,901,000 株	2023年8月期	2,901,000 株
期末自己株式数	2024年8月期	752,260 株	2023年8月期	752,260 株
期中平均株式数	2024年8月期	2,148,740 株	2023年8月期	2,148,740 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、経済活動が正常化に向かう一方、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価上昇が節約志向を高めていることなどで個人消費は低調に推移しました。今後の景気は緩やかな回復基調が見込まれていますが、国内外の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社の服飾事業におきましては、物価高による影響は受けたものの業績はほぼ前年並みで推移しました。賃貸・倉庫事業におきましては、新倉庫（カワサキ貝塚テクノプラザ）も2024年1月から稼働し、引き続き業績は安定して堅調な推移を見せております。ホテル事業におきましては、予定しておりました客室の空調設備やバスルームのリニューアル工事はひととおりで終わっております。

その結果、当事業年度の業績は売上高2,182,874千円（前年同期比24.9%の増加）、営業利益402,364千円（前年同期比41.7%の増加）、経常利益408,285千円（前年同期比40.8%の増加）、当期純利益293,445千円（前年同期比43.1%の増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前第3四半期会計期間においてホテルレイクアルスターを直営化したことに伴い、経営管理の観点から「ホテル事業」の区分を新設しています。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、継続する物価上昇による消費の落ち込みや円安によるコストアップの影響を受けております。引き続き販売体制の再構築、コストダウンの推進、販売在庫品目の見直し等で収益体質の改善に向けて取り組んでまいりましたが、増収減益となりました。その結果、売上高は524,611千円（前年同期比1.1%の増加）、営業損失は37,787千円（前年同期は32,419千円の営業損失）となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、倉庫の稼働率は高く、2023年4月にカワサキテクノプラザが稼働したことに加えて2024年1月にカワサキ貝塚テクノプラザが稼働したことで、堅調に推移しました。その結果、売上高は1,365,970千円（前年同期比21.3%の増加）、営業利益は554,379千円（前年同期比54.7%の増加）となりました。

(ホテル事業)

当事業部門におきましては、客室の空調設備とバスルームの工事が完了し、お客様に快適にお過ごしいただける環境が整ったことにより、来年開催の大阪万博にむけてインバウンド需要にアプローチをかけてまいります。ホテルレイクアルスターは、宿泊、宴会、レストランの3部門が営業の柱となっており、南海本線泉大津駅前という立地を生かし、地域密着で今後の収益化にむけて取り組んでおります。なお、当事業年度においては、リニューアル工事に伴う費用が発生したこと等から、売上高は292,293千円（前年同期比184.5%の増加）、営業損失は114,227千円（前年同期は41,957千円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて214,367千円(27.2%)増加し、1,002,432千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が343,720千円、商品及び製品が38,120千円増加し、未収入金が162,541千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて346,956千円(5.1%)増加し、7,119,804千円となりました。この主な要因は、建物（純額）が315,416千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて241,540千円(52.5%)増加し、701,621千円となりました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が60,960千円、未払法人税等が85,878千円、未払消費税等が73,144千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて120,882千円(6.9%)増加し、1,865,888千円となりました。この主な要因は、長期借入金が55,180千円、資産除去債務が64,537千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて198,901千円(3.7%)増加し、5,554,727千円となりました。この主な要因は、当期純利益を293,445千円計上したものの、配当による減少94,544千円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローを907,254千円確保し、投資活動によるキャッシュ・フローは585,036千円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは21,595千円の収入となったこと等により、前事業年度末に比べ343,720千円増加し、570,344千円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前当期純利益408,285千円、減価償却費294,475千円、法人税等の支払額64,136千円等により、当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは907,254千円の収入(前年同期は149,315千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による583,885千円の支出等により、当事業年度の投資活動によるキャッシュ・フローは585,036千円の支出(前年同期は984,713千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の借入による600,000千円の収入、長期借入金の返済による483,860千円の支出等により、当事業年度の財務活動によるキャッシュ・フローは21,595千円の収入(前年同期は442,653千円の収入)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期
自己資本比率	77.0	70.8	68.4
時価ベースの自己資本比率	42.7	37.6	34.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.5	7.9	1.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ	402.2	33.7	160.3

(注) 1. 時価ベースの自己資本比率は、株式時価総額/総資産により算出しております。

2. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

3. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

4. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(4) 今後の見通し

国内経済は、経済社会活動の正常化が進み、景気が持ち直していく事が期待されておりますが、円安や資源価格の高騰を背景にした企業物価、消費者物価上昇により、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況下、賃貸・倉庫事業においては、大阪府泉北郡忠岡町および岸和田市に2023年4月に稼働した大型物流施設「カワサキテクノプラザ」と大阪府貝塚市において2024年1月に稼働した「カワサキ貝塚テクノプラザ」が業績に貢献しております。ホテル事業については、黒字化は2025年8月期を予定してはいたしましたが、食材費や人件費のコストアップに加えて設備の改修も一部残っているため、黒字化は2026年8月期にずれ込む見込みであります。

これらにより、2025年8月期の業績予想につきましては、売上高2,222,600千円(前期比1.8%増)、経常利益449,000千円(前期比10.0%増)、当期純利益294,000千円(前期比0.2%増)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益配分と継続的な企業発展を経営の最重要課題と認識しており、株主還元、適切な

レバレッジ、成長資金の確保の最適なバランスを念頭に株主還元をしていく考えであります。

なお、当期の配当金につきましては、期末配当金を1株当たり28円とし、次期の配当金については、中間配当金25円、期末配当金25円で年間50円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	226,623	570,344
売掛金	46,401	35,465
営業未収入金	6,115	6,161
商品及び製品	218,264	256,384
原材料及び貯蔵品	30,005	33,591
前渡金	25,740	25,459
前払費用	37,481	40,004
未収入金	196,624	34,083
その他	1,817	1,095
貸倒引当金	△1,009	△157
流動資産合計	788,064	1,002,432
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,187,347	6,725,329
減価償却累計額	△2,914,775	△3,137,340
建物(純額)	3,272,571	3,587,988
構築物	380,177	456,233
減価償却累計額	△151,917	△182,968
構築物(純額)	228,259	273,265
機械及び装置	402,469	402,469
減価償却累計額	△190,596	△217,348
機械及び装置(純額)	211,872	185,120
車両運搬具	39,077	39,077
減価償却累計額	△37,175	△37,942
車両運搬具(純額)	1,901	1,134
工具、器具及び備品	163,871	199,134
減価償却累計額	△153,341	△163,875
工具、器具及び備品(純額)	10,529	35,259
土地	2,571,366	2,571,366
建設仮勘定	3,487	-
有形固定資産合計	6,299,988	6,654,134
無形固定資産		
ソフトウェア	13,154	13,347
その他	5,933	5,872
無形固定資産合計	19,088	19,220
投資その他の資産		
出資金	325	6,530
長期前払費用	11,538	7,066
敷金及び保証金	441,907	432,852
投資その他の資産合計	453,770	446,449
固定資産合計	6,772,847	7,119,804
資産合計	7,560,912	8,122,237

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,284	10,940
1年内返済予定の長期借入金	210,960	271,920
未払金	47,387	46,656
未払費用	36,307	37,689
未払法人税等	17,015	102,893
未払消費税等	9,844	82,989
前受金	115,804	139,887
預り金	2,805	5,918
賞与引当金	1,194	1,183
その他	2,475	1,541
流動負債合計	460,080	701,621
固定負債		
長期借入金	970,120	1,025,300
役員退職慰労引当金	6,716	9,716
受入保証金	226,336	259,676
資産除去債務	375,472	440,009
繰延税金負債	159,832	124,657
その他	6,528	6,528
固定負債合計	1,745,005	1,865,888
負債合計	2,205,085	2,567,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300	4,300
資本剰余金		
資本準備金	465,937	465,937
その他資本剰余金	560,000	560,000
資本剰余金合計	1,025,937	1,025,937
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
別途積立金	2,450,000	2,450,000
固定資産圧縮積立金	509,538	487,457
繰越利益剰余金	1,816,266	2,037,249
利益剰余金合計	4,800,805	4,999,707
自己株式	△475,216	△475,216
株主資本合計	5,355,826	5,554,727
純資産合計	5,355,826	5,554,727
負債純資産合計	7,560,912	8,122,237

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高		
製品売上高	519,117	524,611
賃貸事業収入	1,126,206	1,365,970
ホテル売上高	102,728	292,293
売上高合計	1,748,052	2,182,874
売上原価		
製品売上原価	300,867	316,719
賃貸事業原価	622,317	691,012
ホテル売上原価	113,266	243,836
売上原価合計	1,036,450	1,251,568
売上総利益	711,601	931,306
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	20,711	20,297
役員報酬	33,900	33,846
給料及び賞与	192,749	279,787
貸倒引当金繰入額	216	△851
賞与引当金繰入額	5,389	5,261
退職給付費用	1,686	5,398
役員退職慰労引当金繰入額	3,100	3,000
法定福利費	29,072	40,855
賃借料	24,607	23,635
減価償却費	13,233	11,678
その他	102,985	106,032
販売費及び一般管理費合計	427,652	528,941
営業利益	283,949	402,364
営業外収益		
受取利息	1	10
受取手数料	1,843	1,459
補助金収入	5,172	7,277
受取家賃	1,680	1,200
その他	2,621	1,616
営業外収益合計	11,317	11,563
営業外費用		
支払利息	4,634	5,548
為替差損	614	93
営業外費用合計	5,248	5,641
経常利益	290,018	408,285
特別損失		
固定資産売却損	1,285	-
固定資産除却損	91	-
特別損失合計	1,377	-
税引前当期純利益	288,640	408,285
法人税、住民税及び事業税	93,261	150,014
法人税等調整額	△9,751	△35,174
法人税等合計	83,510	114,839
当期純利益	205,130	293,445

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					別途積立金	固定資産圧 縮積立金	繰越利益剰 余金		
当期首残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	519,848	1,708,264	4,703,112
当期変動額									
固定資産圧縮積立金の取崩							△10,309	10,309	—
剰余金の配当								△107,437	△107,437
当期純利益								205,130	205,130
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△10,309	108,002	97,693
当期末残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	509,538	1,816,266	4,800,805

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△475,216	5,258,133	5,258,133
当期変動額			
固定資産圧縮積立金の取崩		—	—
剰余金の配当		△107,437	△107,437
当期純利益		205,130	205,130
当期変動額合計	—	97,693	97,693
当期末残高	△475,216	5,355,826	5,355,826

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		別途積立金	固定資産圧 縮積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	509,538	1,816,266	4,800,805
当期変動額									
固定資産圧縮積立金の取崩							△22,081	22,081	—
剰余金の配当								△94,544	△94,544
当期純利益								293,445	293,445
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△22,081	220,982	198,901
当期末残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	487,457	2,037,249	4,999,707

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△475,216	5,355,826	5,355,826
当期変動額			
固定資産圧縮積立金の取崩		—	—
剰余金の配当		△94,544	△94,544
当期純利益		293,445	293,445
当期変動額合計	—	198,901	198,901
当期末残高	△475,216	5,554,727	5,554,727

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	288,640	408,285
減価償却費	233,410	294,475
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	216	△851
賞与引当金の増減額 (△は減少)	91	△10
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,100	3,000
受取利息及び受取配当金	△1	△10
支払利息	4,634	5,548
固定資産除却損	91	-
為替差損益 (△は益)	△35	93
固定資産売却損益 (△は益)	1,285	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,537	10,889
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△40,226	△41,706
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,562	△5,344
その他	△143,896	302,670
小計	340,137	977,039
利息及び配当金の受取額	1	10
利息の支払額	△4,433	△5,658
法人税等の支払額	△186,389	△64,136
営業活動によるキャッシュ・フロー	149,315	907,254
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△948,363	△583,885
有形固定資産の売却による収入	227	-
無形固定資産の取得による支出	△2,654	△4,000
差入保証金の差入による支出	△33,923	△3,932
差入保証金の回収による収入	-	12,986
その他	-	△6,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△984,713	△585,036
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	800,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△249,910	△483,860
配当金の支払額	△107,437	△94,544
財務活動によるキャッシュ・フロー	442,653	21,595
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	△93
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△392,709	343,720
現金及び現金同等物の期首残高	619,333	226,623
現金及び現金同等物の期末残高	226,623	570,344

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、財務情報に基づき、事業の種類別に区分した単位により事業活動を展開しております。

従って、当社は事業の種類に基づき、「服飾事業」、「賃貸・倉庫事業」、「ホテル事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

服飾事業……………シェニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品

賃貸・倉庫事業……不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業、太陽光発電事業

ホテル事業……………ホテルレイクアルスターでの宿泊、宴会、レストラン営業

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	ホテル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	519,117	1,126,206	102,728	1,748,052	—	1,748,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	519,117	1,126,206	102,728	1,748,052	—	1,748,052
セグメント利益又は損失(△)	△32,419	358,326	△41,957	283,949	—	283,949
セグメント資産	448,826	6,208,793	117,764	6,775,384	785,527	7,560,912
その他の項目						
減価償却費	6,668	212,972	6,475	226,116	7,293	233,410
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,744	1,092,575	4,978	1,099,297	1,827	1,101,125

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余剰運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。

(2) 減価償却費の調整額は、主に全社資産の減価償却費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	ホテル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	524,611	1,365,970	292,293	2,182,874	—	2,182,874
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	524,611	1,365,970	292,293	2,182,874	—	2,182,874
セグメント利益又は損失(△)	△37,787	554,379	△114,227	402,364	—	402,364
セグメント資産	481,654	6,550,365	135,381	7,167,401	954,835	8,122,237
その他の項目						
減価償却費	6,104	268,810	13,342	288,258	6,217	294,475
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	4,000	610,550	33,504	648,055	698	648,753

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余剰運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。

(2)減価償却費の調整額は、主に全社資産の減価償却費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

4. セグメントに関する事項

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

当事業年度においてホテルレイクアルスターを直営化したことに伴い、経営管理の観点から「ホテル事業」の区分を新設しています。

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

【関連情報】

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
司企業株式会社	186,438	賃貸・倉庫事業

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
司企業株式会社	374,556	賃貸・倉庫事業

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	2,492.54円	2,585.11
1株当たり当期純利益金額	95.47円	136.57

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	205,130	293,445
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	205,130	293,445
普通株式の期中平均株式数(株)	2,148,740	2,148,740

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,355,826	5,554,727
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,355,826	5,554,727
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,148,740	2,148,740

(重要な後発事象)

該当事項はありません。